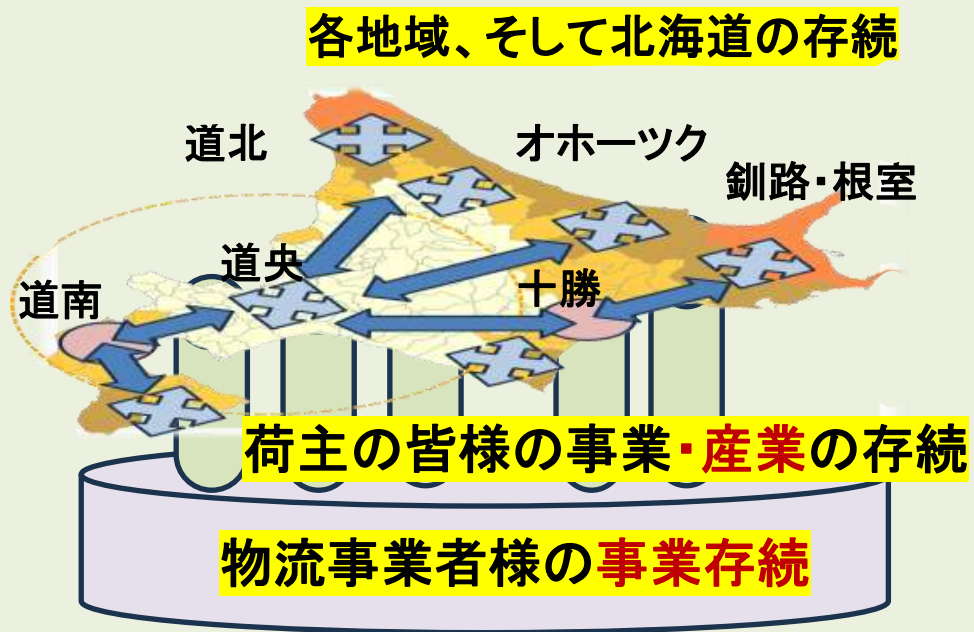


北海道、各地の産業と生活の存続に向けて ～物流を考えることは「次世代にどのような地域を残すか」を考えること～



2025年01月17日
於：札幌市

北海商科大学
相浦宣徳



北海道物流WEEK2025が始まります。



「届けたい人」「運んでくださる人」、
そして**全ての人が「受けとりたい人」**

届けたい人 → モノが出せない
運んでくださる人 → モノを運べない
受けとりたい人 → モノが届かない

北海道商工会議所連合会・福井邦幸部長との議論から

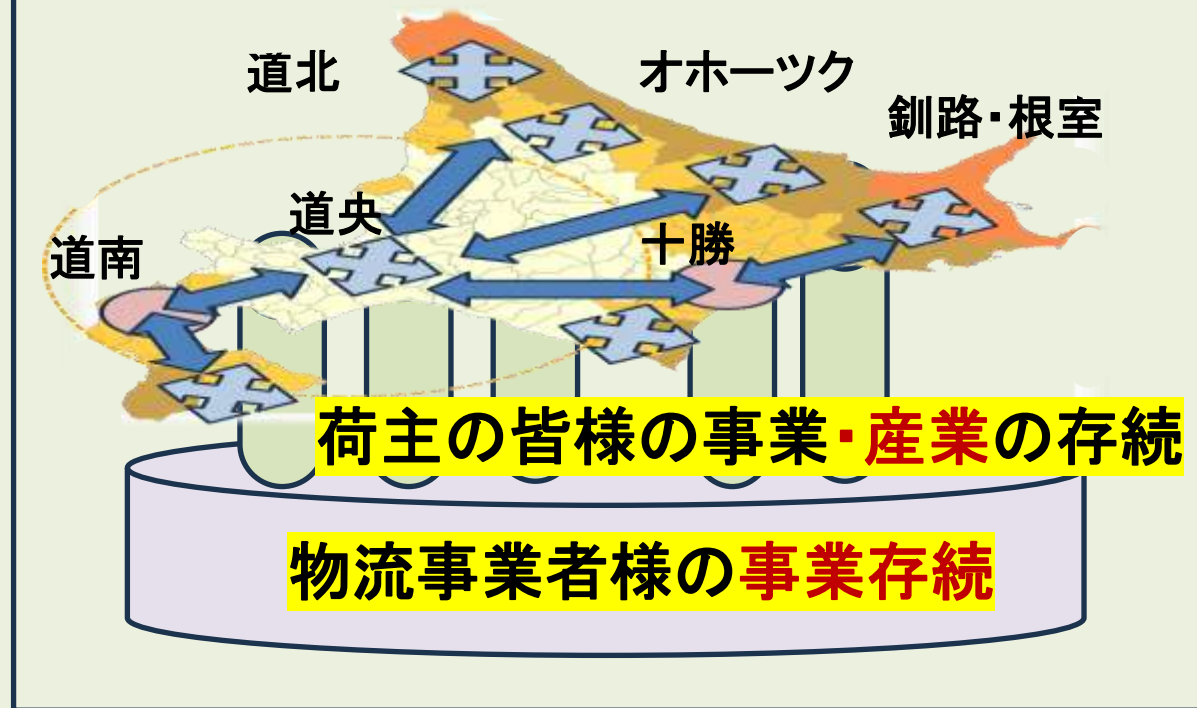
主催：経済産業省・北海道経産局
国土交通省 北海道開発局・北海道運輸局
農林水産省・北海道農政事務所
北海道

北海道物流WEEK2025が始まります。

北海道物流WEEK2025 Contents	
物流WEEK連携イベント	
2.12 Wed HOKKAIDO物流フォーラム2025	2.17 Mon 北海道地域物流シンポジウム ～持続的な物流産業のフィジカル・デジタル・人的な連携～
時間 14:00～17:00 方式 オンライン開催	時間 14:00～16:30 会場 アステ45 4階ホール (札幌市中央区北4条西5丁目)
内容 ・物流2024年取組を振り返る／北海道運輸局 ・関係機関・関係団体等からの報告 ・北海道運輸局、北海道大学、各関係団体、物流事業者 ・持続的な物流システムの構築に向けて／北海道科大学 相浦教授	内容 ・新しい物流「フィジカル・デジタル・人的な連携」／経済産業省 ・北海道、各地の産業と生活の持続性について／北海道大学 相浦教授 ・道内の共同輸送事例／（株）マルコシアール ・共同輸送デジタルマッチング／（一社）運輸デジタルビジネス協議会 ・名刺・情報交換 etc.
主催 国土交通省北海道開発局・北海道運輸局	主催 経済産業省北海道経済産業局
申込 https://forms.mhl.jp/forms/2025	申込 https://www.city.sapporo.jp/infocenter/2025/02/17_sapporo0849/
お問い合わせ 北海道運輸局 総務課 電話：011-709-2311（内5472）	お問い合わせ 北海道二一世紀総合研究所 調査研究部 電話：011-231-3053
2.17 Mon～道内下り貨物列車活用による実証実験	
内容 道内下り貨物列車の活用によるコンテナ利用促進に向けた実証実験	2.18 Tue 北海道産物・物流バランスアップセミナー
協力 日本貨物鉄道（株）北海道支社、北海道物流を支える鉄道輸送の会、北海道大学工学部物流センター、北海道大学農学研究所、道内北海道（株）、サッポログループ物流（株）、北見通運（株）等	時間 13:30～16:00 会場 オホーツクA Bldg. (北見市とらぎ町東町617番地)
協力 北海道物流を支える鉄道輸送の会 事務局（北海道運輸局） 電話：011-251-8361	内容 ・北海道トラック輸送バランスアッププロジェクト 調査報告 ・（株）道産地物産共同研究所 ・行政機関からの情報提供 ・酒蔵地に置いてこそ「生産地」へ物流分野から農業分野への切なる課題提起／北海道大学 相浦教授
お問い合わせ 北海道物流を支える鉄道輸送の会 事務局（北海道運輸局） 電話：011-251-8361	主催 農林水産省北海道農政事務所
お問い合わせ 北海道物流を支える鉄道輸送の会 事務局（北海道運輸局） 電話：011-251-8361	申込 https://forms.mhl.jp/forms/2025/02/18_yamaguchi/
お問い合わせ 北海道物流を支える鉄道輸送の会 事務局（北海道運輸局） 電話：011-251-8361	お問い合わせ 北海道農政事務所 事業支援課 電話：011-330-8810
2.19 Wed 北海道物流研究会	2.20 Thu 宗谷地域物流セミナー
内容 北海道物流研究会参画事業者による協議等に向けた意見交換 etc..	時間 14:30～17:00 会場 稚内総合文化センター 美術室 (稚内市中央3丁目13番23号)
主催 北海道物流研究会	内容 ・道路輸送を活用した中継輸送／北海道開発局稚内開発建設部 ・物流マッチングモデル「ロジクス」の取組／北海道開発局稚内開発建設部 ・物流に関する補助制度の紹介／北海道経済産業局、北海道運輸局 ・外（と）からみた宗谷の物流事情／北海道大学 相浦教授
お問い合わせ 北海道物流研究会 事務局（イオン北海道株式会社） 電話：070-6487-6860	主催 稚内市、国土交通省北海道開発局稚内開発建設部
お問い合わせ 北海道物流研究会 事務局（イオン北海道株式会社） 電話：070-6487-6860	申込 https://www.city.wakapoi.hokkaido.jp/sangyu/sangyu/index.html
お問い合わせ 北海道物流研究会 事務局（イオン北海道株式会社） 電話：070-6487-6860	お問い合わせ 稚内市 水産加工課 電話：0162-25-6467
2.21 Fri 物流イベント「あなたの荷物が届くまで」	2.21 Fri 物流・DX展示会&物流セミナー
時間 11:00～16:00 会場 イオンモール札幌発着 すすづらん広場 (札幌市西区発着8条12丁目1番1号)	時間 10:00～16:00 会場 北海道経済センター8階 セミナー（13:00～15:00） Aホール（セミナー）Bホール（展示場） (札幌市中央区北1条西2丁目)
内容 ・「届く」を知るパネル展示 ・再配達を減らすためにできること／パネリスト提供 ・列車で荷物を運ぶ仕組み etc.	内容 ・物流DX展示会 ・物流業界の現状と課題および今後の方向について ・物流ジャーナリスト 森田 新士氏 ・デジタルリスティングプログラム（DREP）について ・北海道大学D-RED 藤川特任教授
主催 国土交通省北海道運輸局、北海道	主催 札幌商工会議所 運輸・自動車部会、北海道物流人倶楽部
お問い合わせ 北海道運輸局 総務課 電話：011-290-2726	申込 https://www.wakapoi-cs.jp/infocenter/2025/02/21_wakapoi/
お問い合わせ 北海道 交通企画課 電話：011-204-5794	お問い合わせ 札幌商工会議所 産業部 人材確保・活用課 電話：011-231-4772

本日のテーマ

各地域、そして北海道の存続



主催：経済産業省・北海道経産局

(1)モノが出せない・モノが運べない
・モノが届かない

そろそろ**実感**しているはず...

皆さんが大好きだったお菓子が



出所: 株式会社明治
<https://www.meiji.co.jp/sweets/snack/karl/lineup>

注) 販売エリアの縮小は2017年より。縮小理由として、販売規模の低迷、ブランドの継続などと共に、「生産や物流に関するコストを総合的に検討した結果、グループ会社の四国明治で生産し、関西地域以西への販売であれば何とか収益性が確保できると判断しました。」とある。

ふるさと納税のあまおうが

出所：ふるさとチョイスHPより



ふるさとチョイス
あなたのご郷土をふるさとに

なにをお探しですか?

お気に入り寄付カード ログイン

お礼の品をさがす 地域をさがす 使い道をさがす ランキング 特集 イベント・取り組み 独自サービス ふるさと納税ガイド

ふるさとチョイス - ふるさと納税サイト > 地域をさがす - 都道府県を選択 > 福岡県の自治体 > 大木町のふるさと納税 > お礼の品詳細

おかけん おおきまち
福岡県 大木町

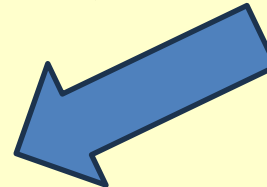
オンラインワンストップ:自治体マイページ

と酸味のバランスが良いすっきりとした味わいをお楽しみ下さい。

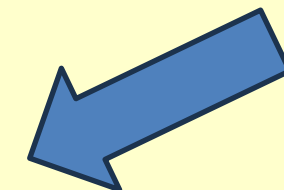
【あまおう 約1500g いちご 莓 果物 冷蔵 送料無料 イチゴ】※北海道・沖縄・離島は配送不可

大木町産 南国フルーツ CO004

* 北海道・沖縄・離島は
配送不可



配送不可
北海道 東北
沖縄 離島



福岡県産

あまおう

春
2月上旬
~3月末発送

(250~270×6パック)
約1,500g

画像を拡大する



ふるさとチョイス
あなたのご郷土をふるさとに

なにをお探しですか?

お気に入り寄付カード ログイン

お礼の品をさがす 地域をさがす 使い道をさがす ランキング 特集 イベント・取り組み 独自サービス ふるさと納税ガイド

ふるさとチョイス - ふるさと納税サイト > 地域をさがす - 都道府県を選択 > 福岡県の自治体 > 朝倉市のふるさと納税 > お礼の品詳細

ふくおかけん あさくらし
福岡県 朝倉市

いちご あまおう DX 等級のみ 約520g (260g×2パック) 配送不可 北海道 東北 沖縄 離島

寄付金額
12,000 円
以上の寄付でもらえる

感想 1件 お気に入り

数量: 1 : 在庫: あり

ファスト寄付で申し込む 寄付カートに入れる

ファスト寄付とは?

あまおう

DX等級のみ 約520g (260g×2)

北海道地域物流シンポジウム (2025. 02. 17)

◎北海商科大学 相浦宣徳

豊漁のさんまが



出所: Youtubeより、「さんま_2024問題」で検索



(2) より大きな影響

全国各地に比べて、その影響はより大きく
地域によってより多様

前提の崩れと、はじまったばかりの輸送力不足

北海道の物流を考える上でのポイント

②「道内地域の地域性 / 物流に関する地域性」

- ・ 産業構造
- ・ 物流インフラ
- ・ 物資流動特性

④セントロイドのズレ (人流と物流のズレ 生産地と消費地のズレ)

③モノの運ばれ方

③-1 モノの運ばれ方・

③-2 運ばれ方の選ばれ方

⑤経済・産業の つながりを支える 「モノのながれ」

⑥トラック輸送への強い依存

①「他地域に対する 北海道の特異性」

①-1 地理的条件に起因

- ・ 本州への輸送手段が限定
- ・ 道内都市間距離・
時間の長さ
- ・ 遠隔多方向性、積雪寒冷

①-2 産業構造に起因

片荷 (対道外：入超傾向、
道内：札幌集中)
季節波動



①他地域に対する北海道の特異性

①「他地域に対する北海道の特異性」

①-1 地理的条件に起因

- ・ 本州への輸送手段が限定
- ・ 道内都市間距離・時間の長さ
- ・ 遠隔多方向性、積雪寒冷

①-2 産業構造に起因

片荷 (対道外：入超傾向、
道内：札幌集中)

季節波動

海上・鉄道輸送に依存する対道外輸送
(港湾・駅までの長い陸上輸送)



積雪・寒冷



出典:HTB北海道ニュース Youtube

遠い先にある、
まばらで・ほそい納品先

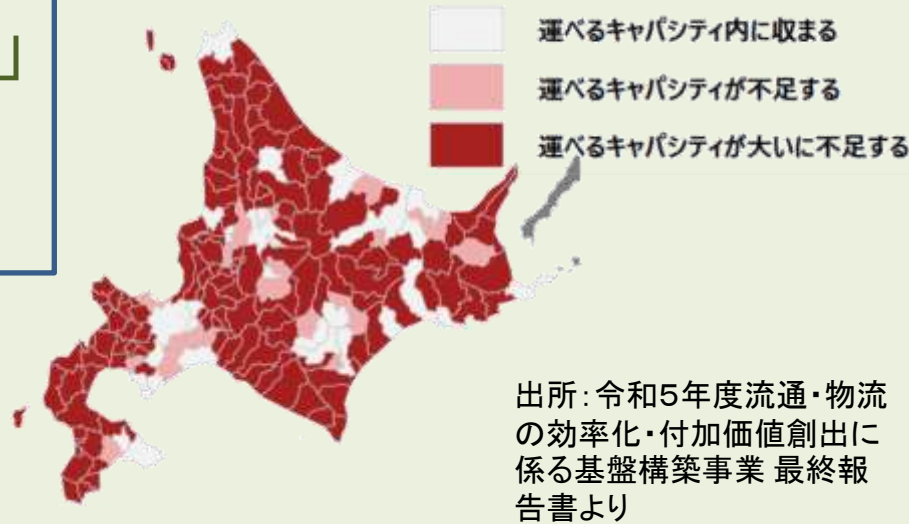


②道内地域の地域性/物流に関する地域性

②「道内地域の地域性 / 物流に関する地域性」

- ・ 産業構造、・ 物流インフラ、
- ・ 物資流動特性

輸送力不足の状況



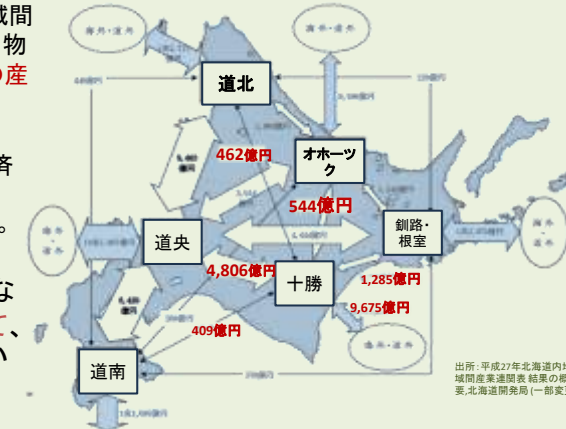
地域産業の連関

交易によって互いに支えられている「地域の経済」

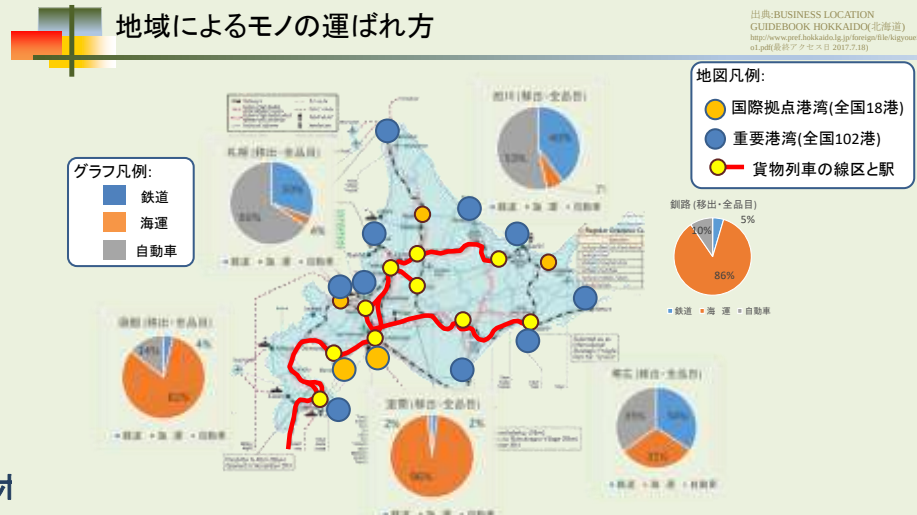
北海道内にも当然地域間の交易が存在している。物流問題により、他地域の産業が縮小した場合、

各エリアだけでは経済活動は成立しない。
⇒北海道の経済的破綻。

例外となる地域はない、自らの問題として、とらえていただきたい



物流インフラの整備状況



遠隔・疎な地域、帰り荷がない
地域(道商連・福井部長)への影響が
顕在化

やがては、他の地域へ、
そして、北海道全体へ。

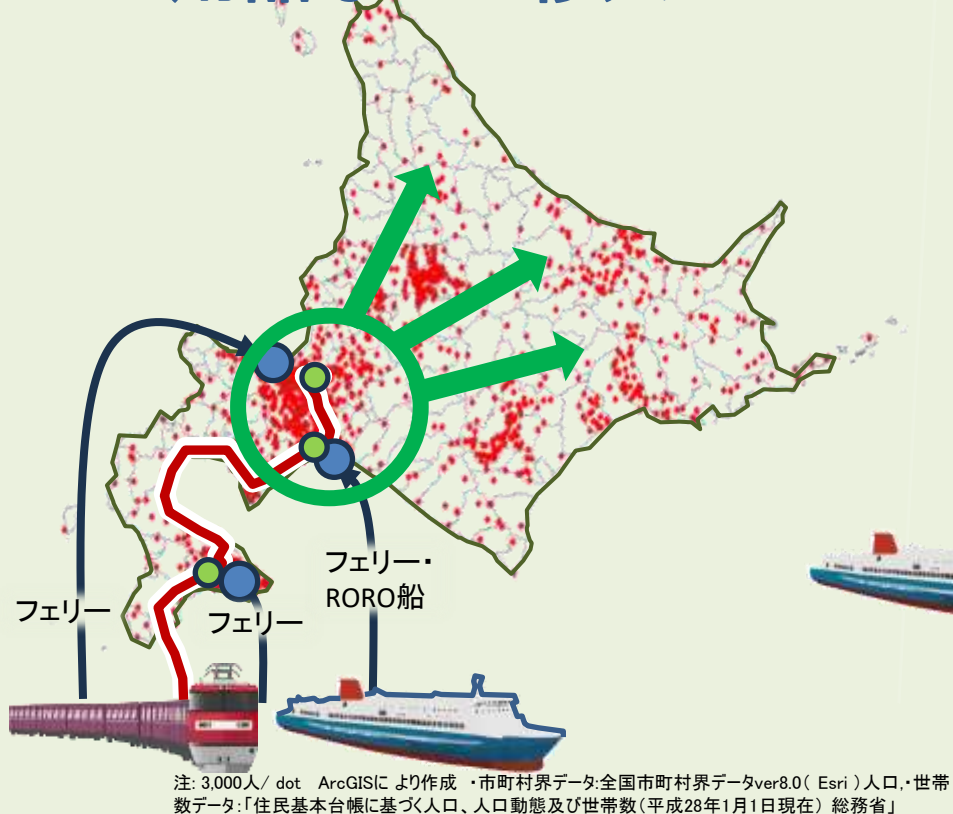
(2) はじまったばかり

全国各地に比べて、その影響はより大きく
地域によってより多様

前提の崩れと、はじまったばかりの輸送力不足

北海道でのモノの流れ(概要)

日用品などの移入



全国から北海道へ(移入)



加工食品,雑貨,衣料品,書籍など

北海道産品などの移出



北海道から全国へ(移出)



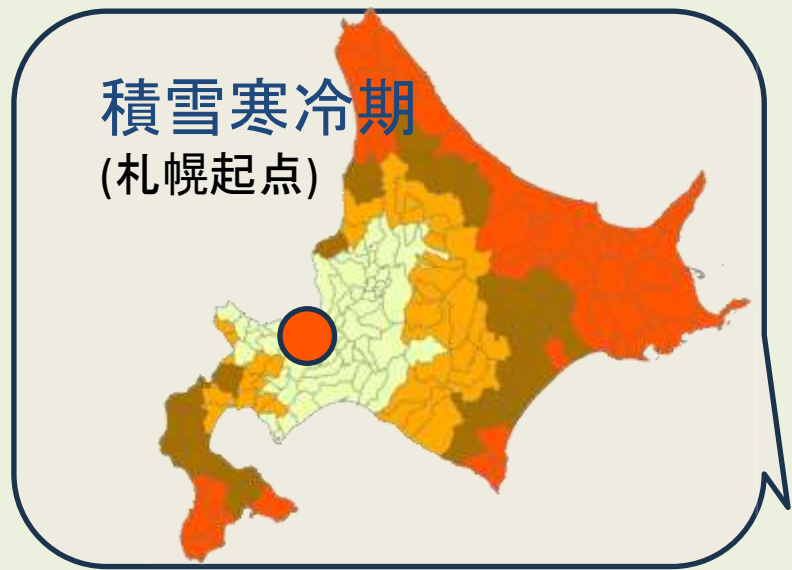
農産品,畜産品,水産品,関連する食料品

システムを支える前提の崩れ

(あ)「札幌圏」「苫小牧圏」からの日帰り輸送

(い) 需要を上回の供給(輸送力)の確保、などを前提としていたシステム

(あ) 時間面での前提の崩れ



通常期
(札幌起点)



3.0h未満

4.5h未満

6.5h未満

6.5h以上

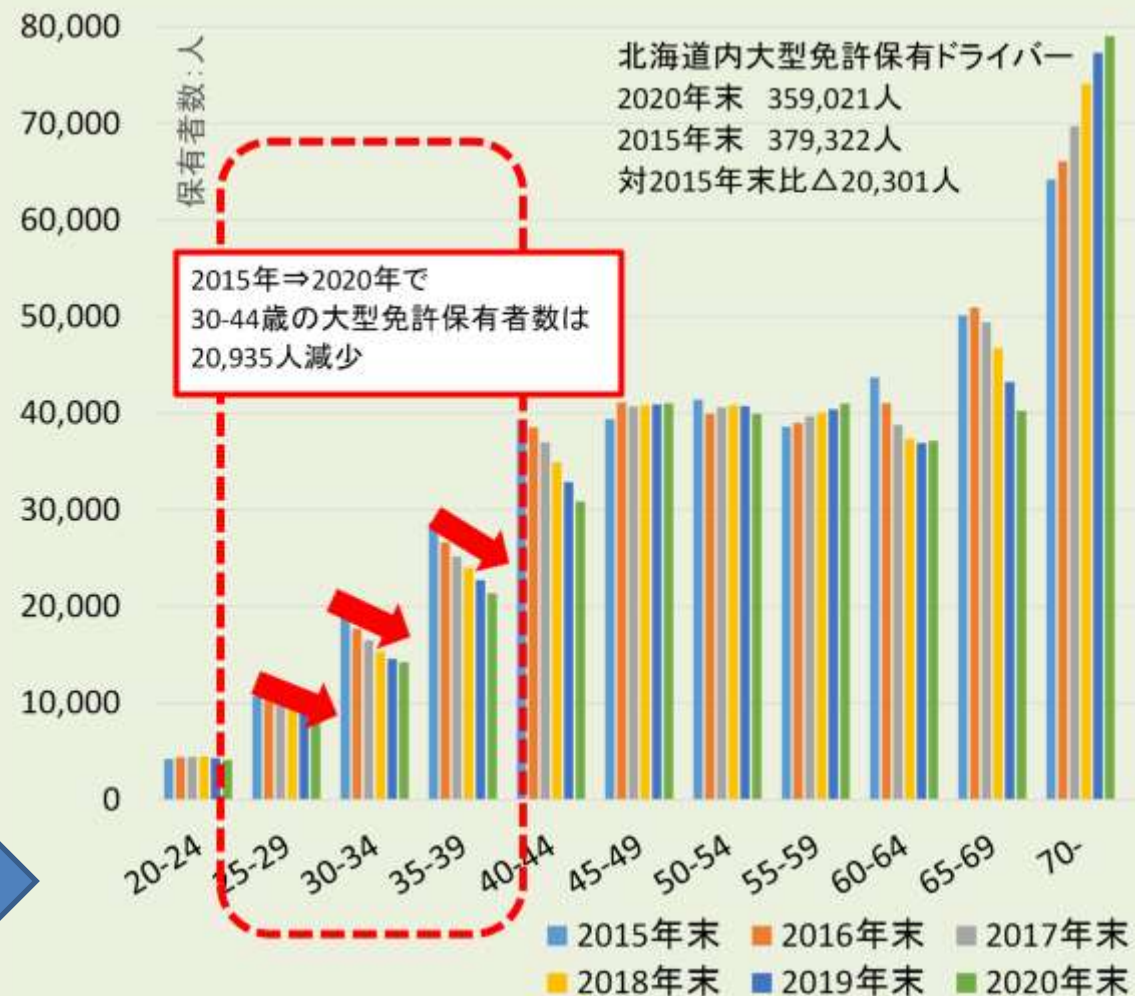
検索条件: 時間優先, 有料道路使用(優先)
検索方法: 全国デジタル道路地図2023年版

問題は始まったばかり

深刻化するドライバーさんの
担い手不足

深刻化するドライバーさんの
高年齢化

(年齢層)



年齢階層別大型免許(第一種、第二種計)
保有者数の推移(警察庁運転免許統計から作成)

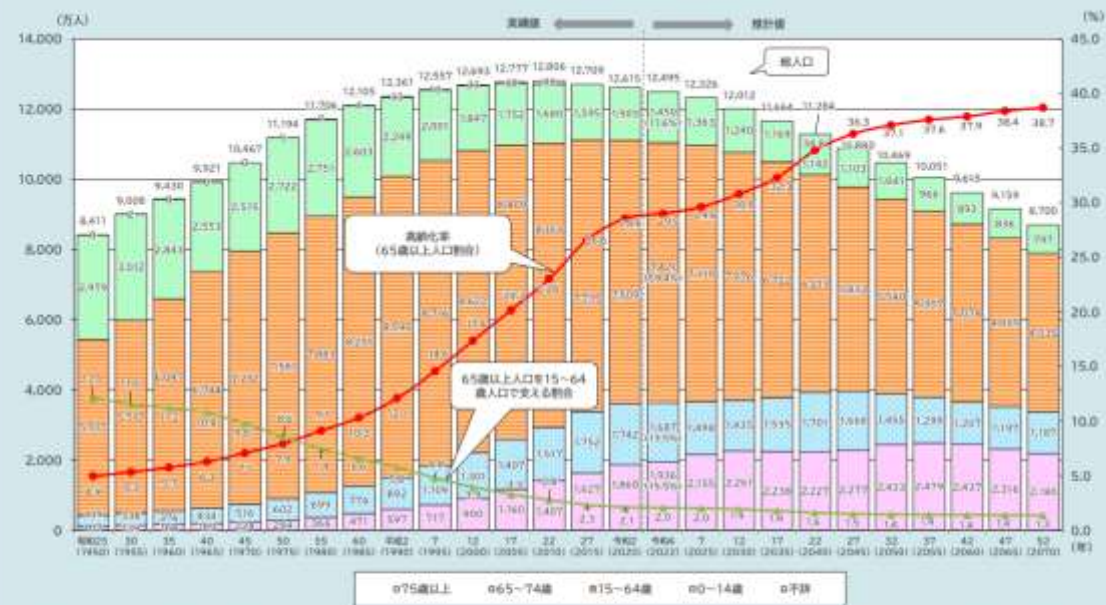
富良野通運 永吉大介氏との共同研究による

問題は始まったばかり

2030年問題

疎の進行

図1-1-2 高齢化の推移と将来推計



資料：棒グラフと実線の高齢化率については、2020年までは総務省「国勢調査」（2015年及び2020年は不詳補定値による）。2022年は総務省「人口推計」（令和4年10月1日現在（確定値））、2025年以降は国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口」（令和5年推計）の出生中位・死亡中位仮定による推計結果

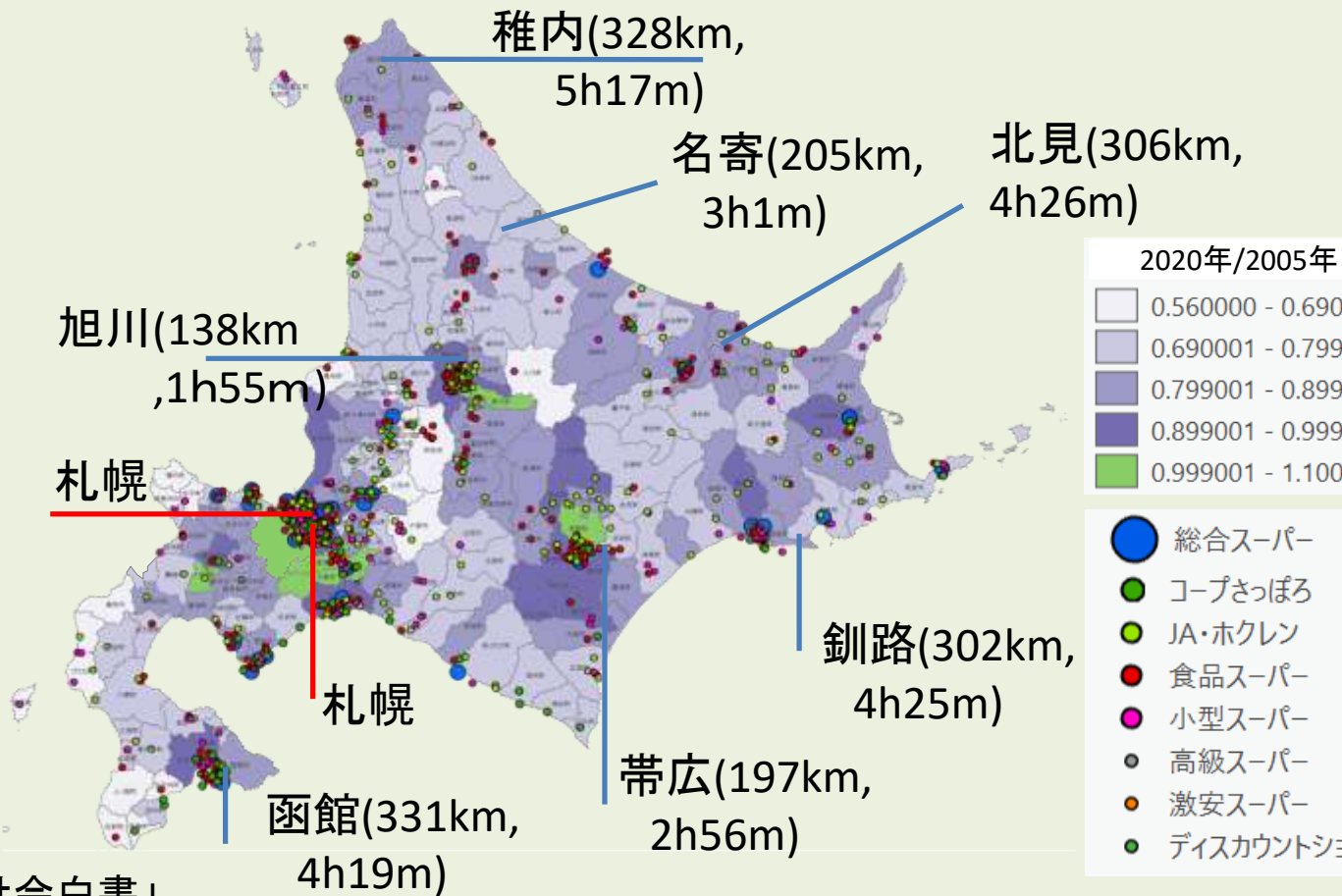
（注1）2015年及び2020年の年齢階級別人口は不詳補定値によるため、年齢不詳は存在しない。2022年の年齢階級別人口は、総務省統計局「令和2年国勢調査」（不詳補定値）の人口に基づいて算出されていることから、年齢不詳は存在しない。2025年以降の年齢階級別人口は、総務省統計局「令和2年国勢調査 参考表：不詳補定結果」による年齢不詳をあん分した人口に基づいて算出されていることから、年齢不詳は存在しない。なお、1950年～2010年の高齢化率の算出には分母から年齢不詳を除いている。ただし、1950年及び1955年において割合を算出する際には、（注2）における沖縄県の一部の人口を不詳には含めないものとする。

（注2）沖縄県の昭和25年70歳以上の外国人136人（男55人、女81人）及び昭和30年70歳以上23,328人（男8,090人、女15,238人）は65～74歳、75歳以上の人口から除き、不詳に含めている。

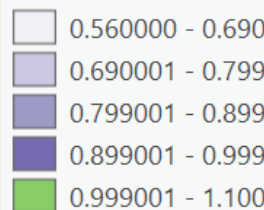
（注3）将来人口推計とは、基準時点までに得られた人口学的データに基づき、それまでの傾向、趨勢を将来に向けて投影するものである。基準時点以降の構造的な変化等により、推計以降に得られる実績や新たな将来推計との間には乖離が生じるものであり、将来推計人口はこのような実績等を踏まえて定期的に見直すこととしている。

（注4）四捨五入の関係で、足し合わせても100.0%にならない場合がある。

出所：内閣府「令和5年版高齢社会白書」



2020年/2005年



- 総合スーパー
- コープさっぽろ
- JA・ホクレン
- 食品スーパー
- 小型スーパー
- 高級スーパー
- 激安スーパー
- ディスカウントストア

北海道、各地の産業と生活の存続に向けて
～物流を考えることは「次世代にどのような地域を残すか」を考えること



(3) 事業継続、地域の存続にむけて

荷主の事業、地域の存続、
そして物流業界の事業継続

北海道の物流と地域の将来(あす)を考える2日間

～ 経済産業省・国土交通省による合同イベントを全国初開催！ ～

物流インフラと 流通システムのたすき掛け

国土交通省
(北海道開発局・北海道運輸局)

経済産業省
(北海道経済産業局)

が連携

1日目
2月19日

インフラから考える物流

国土交通省 (北海道開発局・北海道運輸局)

共同輸送・中継輸送を考えるシンポジウム

- 2024年問題とその背景 (北海道運輸局)
- 今年度事業の成果報告 (北海道開発局)
 - これまでの検討経緯
 - 「場所」に関する取組
 - 道の駅等における実証実験
 - 名寄市における物流・防災拠点化構想
 - 「仕組み」に関する取組
 - 「北海道道/物流マッチングモデル」[ロジクス]
 - 県レベリス構想
 - デジタル技術による物流の可視化の取組
- パネルディスカッション

テーマ: 北海道における共同輸送・中継輸送の実装に向けて～「場所」と「仕組み」～

登壇者: 北見工業大学地域未来デザイン工学科教授 高橋清氏
北海道科学大学商学部商学科教授 相浦宣徳氏
名寄商工会議所、ヤマト運輸(株)、北海道開発局

2日目
2月20日

産業から考える物流

経済産業省 (北海道経済産業局)

北海道地域フィジカルインターネット懇談会

- 道内事業者の物流実態及び共同化の可能性分析 (野村総合研究所)
- 経済産業省による実証事業報告 (経済産業省・実証事業者)
 - 物流情報の電子化・データ連携促進
 - 小売業の発注DX (在庫管理・需要予測)
- 政策に関するご紹介
- パネルディスカッション

テーマ: 北海道における持続可能な物流のあり方～業種の枠を超えた共同配送へ～

登壇者: 北海道科学大学商学部商学科教授 相浦宣徳氏
北見工業大学地域未来デザイン工学科教授 高橋清氏
イオン北海道(株)、国分北海道(株)、F-LINE(株)

日時 2月19日(月) 共同輸送・中継輸送を考えるシンポジウム
2月20日(火) 北海道地域フィジカルインターネット懇談会
いずれも14:00～17:00

場所 いずれもアスティホール (アスティ45ビル4階)

残り 1,000 時間

「2024年問題」を共に乗り越えるまで
※セミナー1日目(2月19日)8:00から4月1日0:00までの期間

地域を支える効率的な物流システムの構築には、産業面から、それを支えるインフラ面からと多角的な検討が必要ため、北海道開発局・北海道運輸局・北海道経済産業局の道内3機関が連携して、検討を進めています。
協力: 日本物流学会・北海道商工会議所連合会・北海道道運連合会・北海道トラック協会

出所: 報告書より(一部改変)

1.異業種連携の必要性和課題

- ①小売業界における需給バランスの偏り
- ②小売業界における厳しい納品要件

2.課題解決に向けて協調し得る領域

- ①納品時間、②リードタイム、③荷姿の標準化

3.課題解決にむけた方法

- ①発着荷主とのリードタイム交渉
- ②他業界・品目(青果物など)との帰荷マッチング
- ③輸送頻度の低減
- ④消費者に向けた課題周知
- ⑤行政主導による商習慣の改善
- ⑥貨物鉄道輸送、海上輸送の活用
- ⑦物流・商流データプラットフォーム

4.場所と仕組み

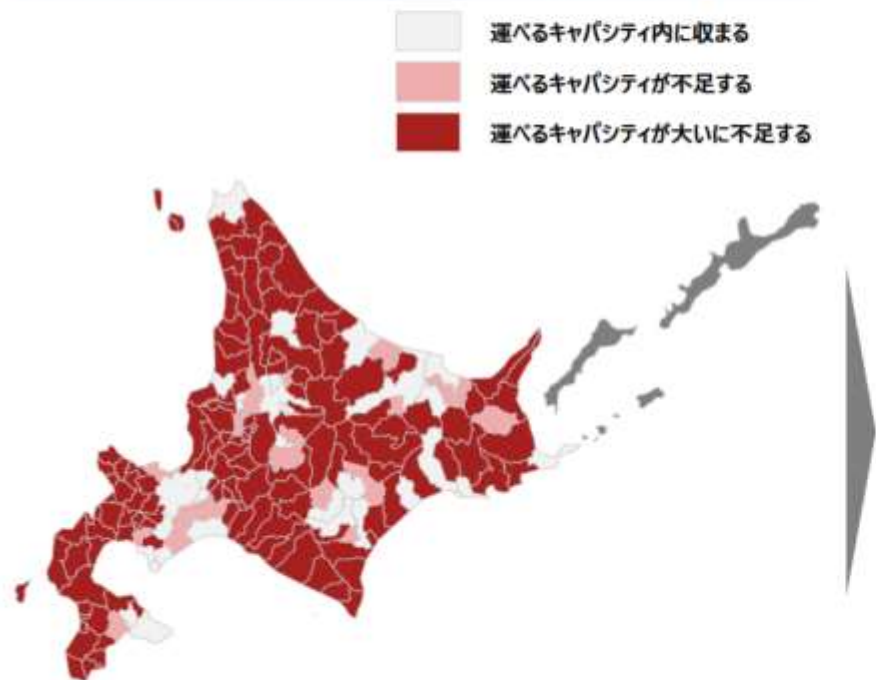
- ①中継・共同輸送の要となる拠点の整備
- ②リンクの高速化や輸送力の強化
- ③広域分散型の地域構造を基本に整備されたインフラの有効活用
- ④商習慣も含めソフト面の検討(マッチングと拠点の在り方)

仕様（２） | 対象地域の物流課題調査 | 道内物流実態の把握 | マクロ統計分析

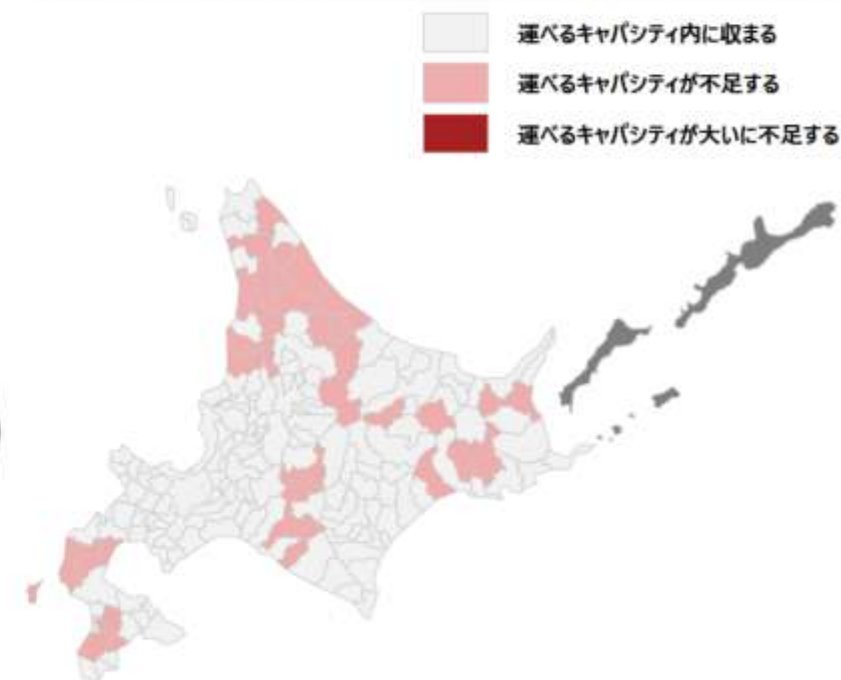
共同配送の拡大等により積載効率が50%まで向上すると、運べない地域は大幅に減少する

- 道内各地域（札幌・旭川・函館・室蘭・釧路・帯広・北見）における市町村別の物流維持可能性をマッピングして作成した。

2030年の市町村別物流維持可能性（成行シナリオ）



2030年の市町村別物流維持可能性（共配シナリオ）



注1) 各地域区分における市町村別の人口密度を踏まえ、地域ごとのドライバー需給ギャップをもとに機械的に判定しており、地理的な要素は加味されていないことに留意

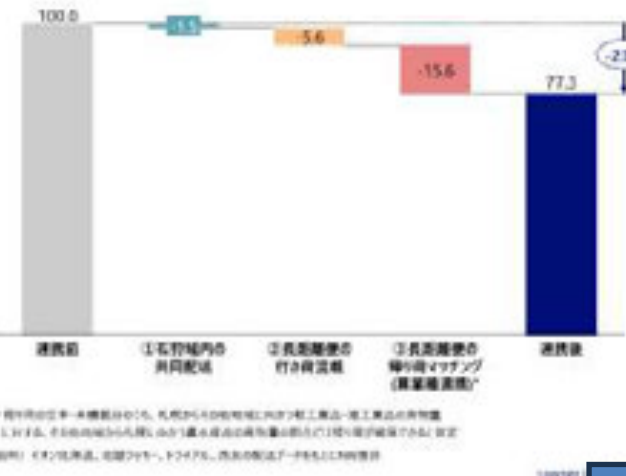
注2) 市町村別物流維持可能性や色の定義等については、p58参照

出所) NRI予測

Copyright (C) Nomura Research Institute, Ltd. All rights reserved. NRI 68

ドライバー不足に対して最もインパクトが大きいのは「長距離便の帰り荷マッチング」

仕様（2） | 対象地域の物流課題調査 | 特定事業者間での具体的な連携可能性の検証
ドライバー不足に対して最もインパクトが大きいのは、「長距離便の帰り荷マッチング」
小売大手4社の北海道における物流効率と連携効果（現状を100とした時のシミュレーション結果）

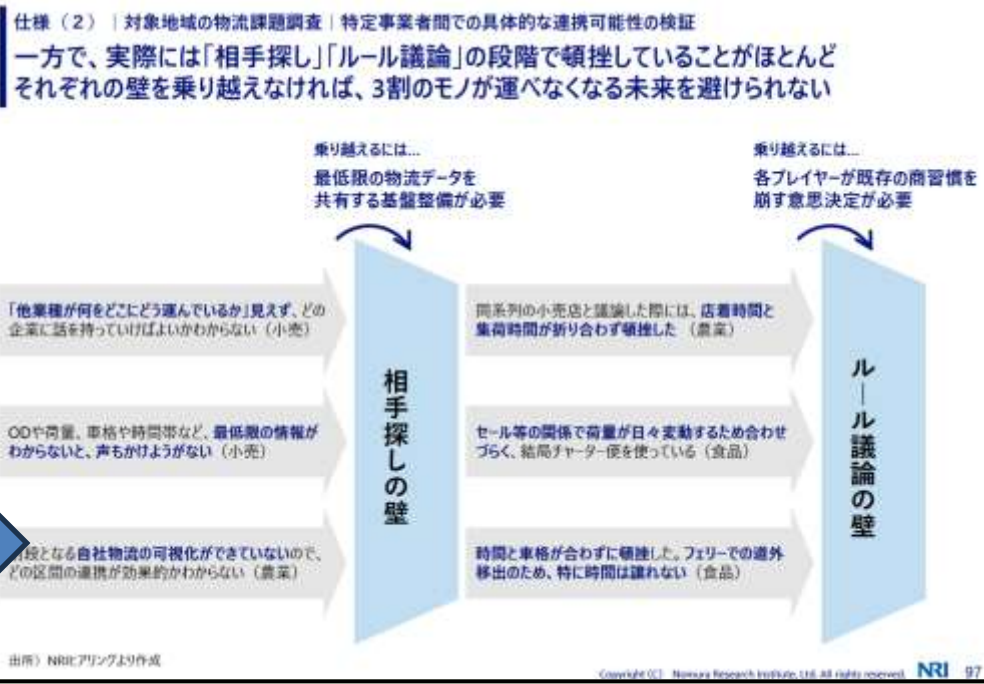


ところが、実施率が最も低い

仕様（2） | 対象地域の物流課題調査 | 特定事業者間での具体的な連携可能性の検証
ところが、インパクトの大きい「長距離便の帰り荷マッチング」は実施率が最も低い。
連携が進む同業同士では、互いに逆方向の荷物を提供できないことが要因と推察される



課題は相手探し(マッチング)とルール議論



北海道物流を考える際の「連携の三軸」

経産局
開発局
運輸局
農政事
北海道

軸1:行政の連携軸

- ・(とかく)縦割り構造
- ・ノウハウの継承

軸2:プレイヤーの連携軸

協創・共創による
事業の継続

届けたい人 → 運んでくださる人 → 受け取りたい人

輸送モード支軸

・トラック,
・海上・鉄道・航空,・・・

活動支軸

プレイヤー支軸

・メーカー・卸売り,
・小売り・小売り・行政,・・・

・届ける(預ける)人,
・運ぶ人,
・受け取る,・・・

Data-Driven

21

トラック輸送
低下状況

産業の連関

物流インフラ環境

グラフ凡例:

■ 鉄道
■ 海運
■ 自動車

軸3:地域の連携軸

北海道各地の産業、生活を守るための物流をベースとした地域戦略

軸1:行政間の連携



軸1:行政の連携軸

- ⑤
- ④2024年度下期
北海道物流関係機関5者会議
(開発局、運輸局、経済産業局、北海道庁、農政事務所)
- ③2024年度下期
北海道物流WEEK2025関係機関5者会議
(開発局、運輸局、経済産業局、北海道庁、農政事務所)
- ②2024年度上期
ロジスク担当者会議
(開発局、運輸局、経済産業局、北海道庁)
- ①2023年度
北海道物流WEEK関係機関会議
(開発局、運輸局、経済産業局)



軸2:プレイヤーの連携軸

協創・共創による
事業の継続

軸間での連携

ロジスクによる軸2、軸3との連携
⇒一か所にリソースを投入
⇒自軸内にとどまる

軸3: 地域の連携軸

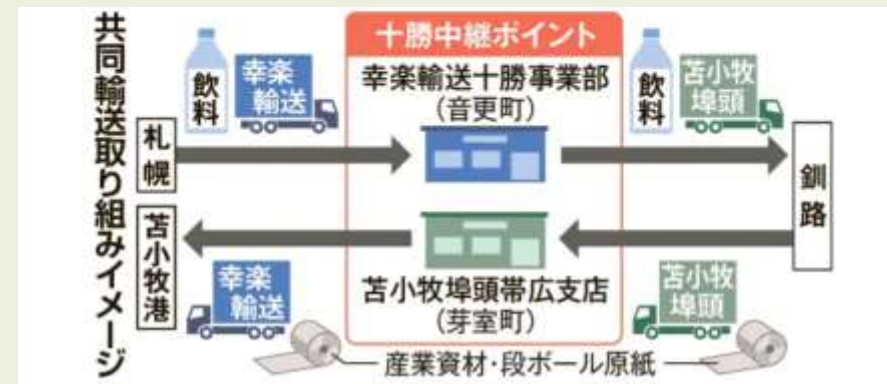
軸間の連携

(軸2と軸3)

軸2:プレイヤーの連携軸

協創・共創による
事業の継続

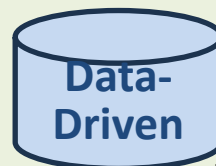
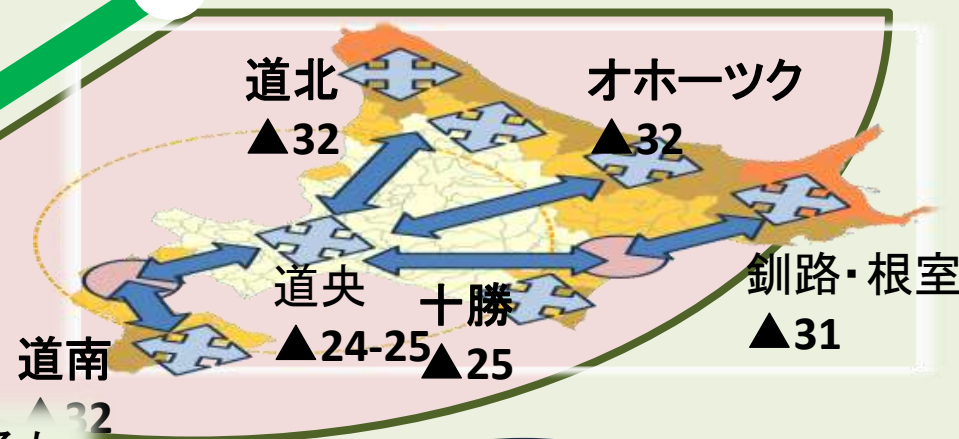
苫小牧・釧路間の中継輸送



出所:北海道新聞電子版(2025年1月20日)

軸3:地域の連携軸

北海道各地の産業、生活を守るための物流をベースとした地域戦略



道内の共同輸配送事例

株式会社マルコシ・シーガル様

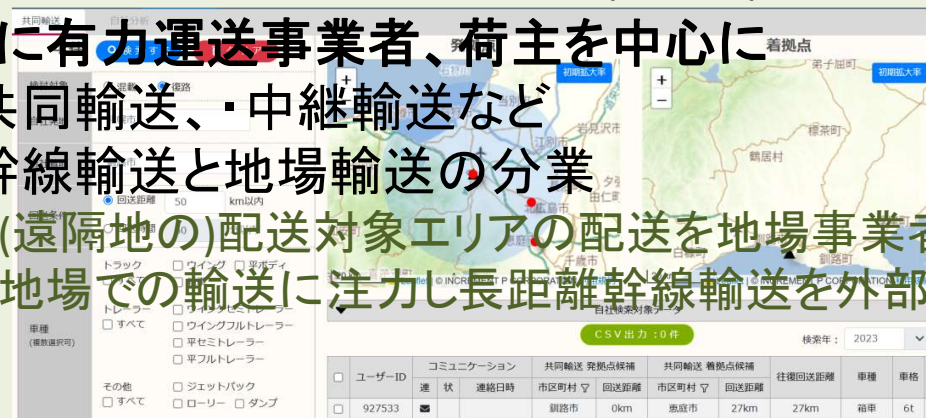


共同配送を推進するデジタルマッチングの取組み

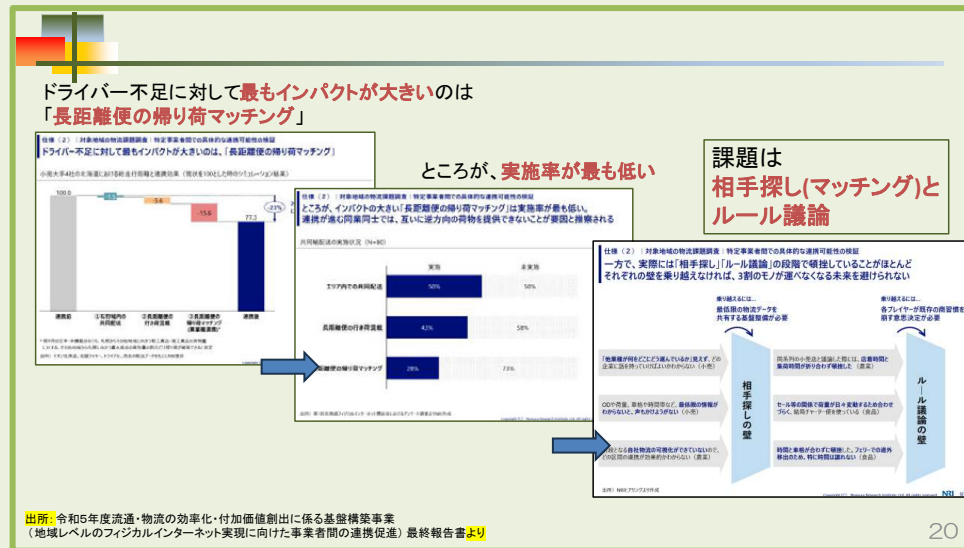
(北海道物流研究会様, (株)traevo様,
運輸デジタルビジネス協議会 (TDBC)様ら)

主に有力運送事業者、荷主を中心に

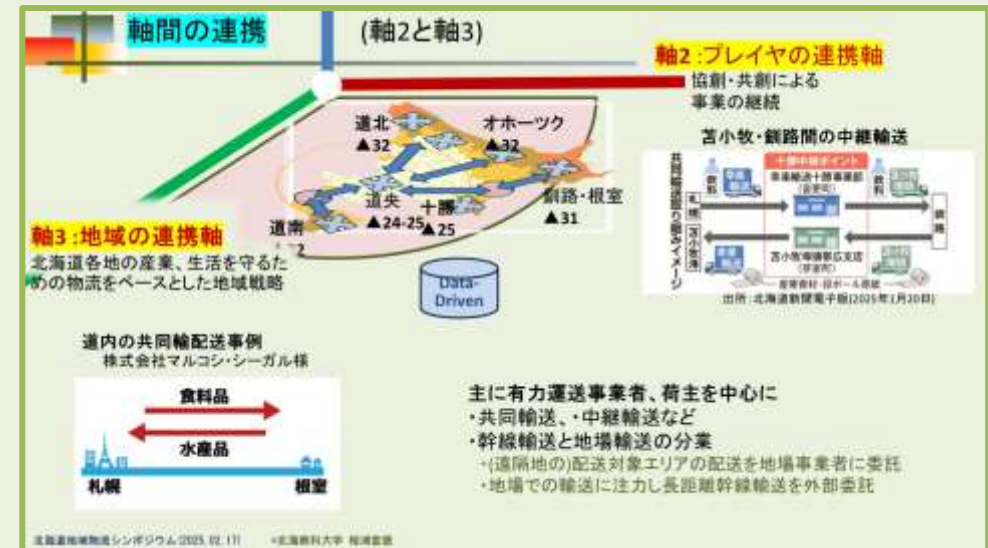
- ・共同輸送、中継輸送など
- ・幹線輸送と地場輸送の分業
- ・(遠隔地の)配送対象エリアの配送を地場事業者に委託
- ・地場での輸送に注力し長距離幹線輸送を外部委託



去年の北海道物流WEEKでの議論



その後の議論



主に有力運送事業者、荷主が中心

- ・共同輸送、・中継輸送など
- ・幹線輸送と地場輸送の分業

マルチユーズ型のシステム

- ・公共性を伴った拠点の整備
- ・北海道版マッチングシステムの開発

(共同輸送による効果と課題)

- ・北海道における物流実態及び課題について
株式会社北海道二十一世紀総合研究所

(成功事例～異業種間連携)

- ・道内の共同輸配送事例について
株式会社マルコシ・シーガル 代表取締役 早川元氏

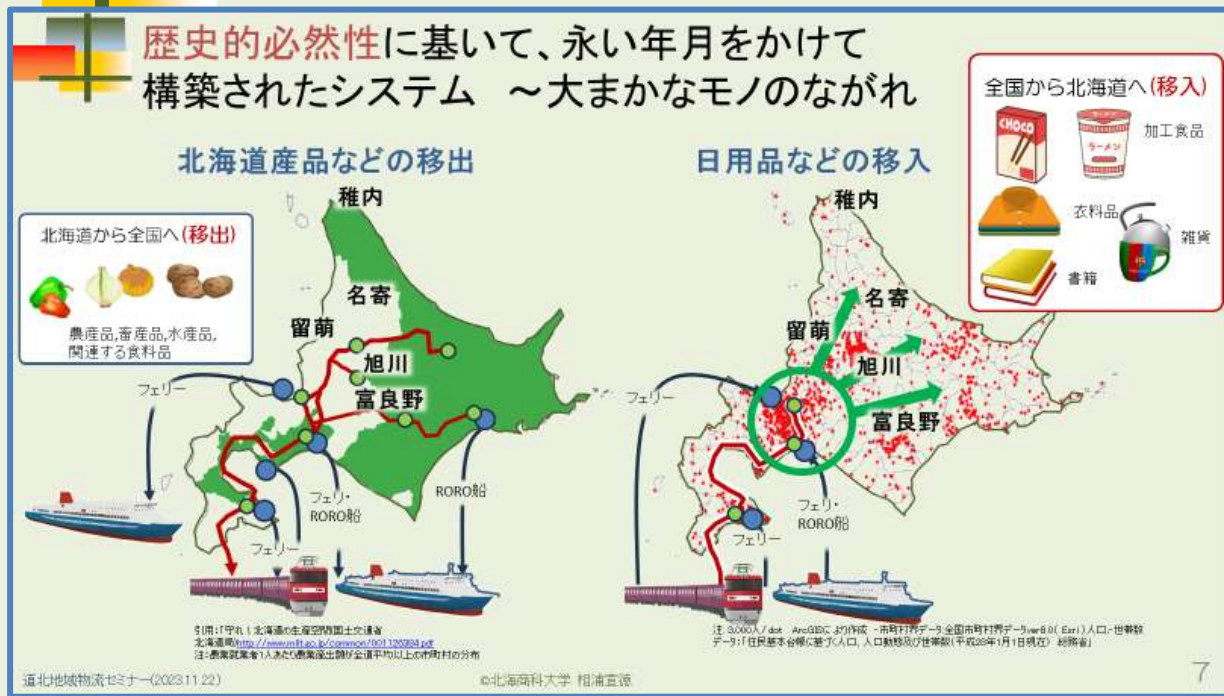
(北海道におけるマッチングシステムの構築)

- ・共同輸配送デジタルマッチングの有効性
一般社団法人運輸デジタルビジネス協議会 鈴木久夫氏

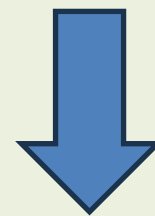
(4)まとめ

一部の有力事業者・荷主の皆さんが実施している
取り組みを公共性をもって、みんなが実現できるように

そう長くない「残された時間」



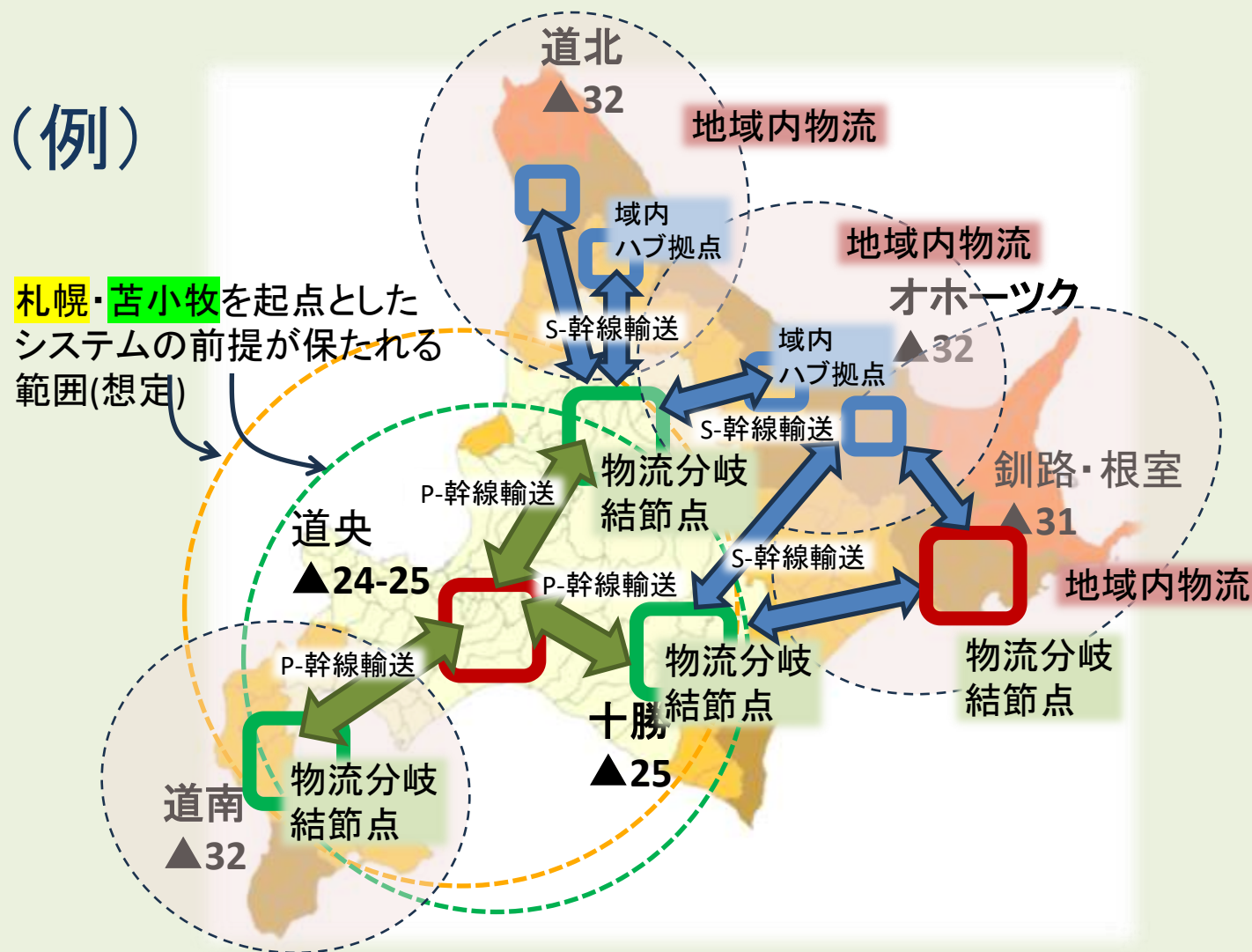
これまでの運び方では、
運べない・届けられない



「どのような地域、
そして、どのような北海道を
次の世代に残すか」は、
この先数か月の議論にかかっている。

- **自らの問題**としての認識、**現実**の周知
～北海道は物流問題に満ち満ちている
～トラック輸送力の低下は始まったばかり、
時間の経過とともに深刻化する
- **モノのながれ**(運び方と運び方の選ばれ方)の**可視化**
～運輸施策策定の大前提
～マッチング、ルール作りの大前提
- 北海道の「物流総括責任者(部門)」としての
「**北海道**」への期待、サポートする仕組み・体制づくり

在るべき姿(例)



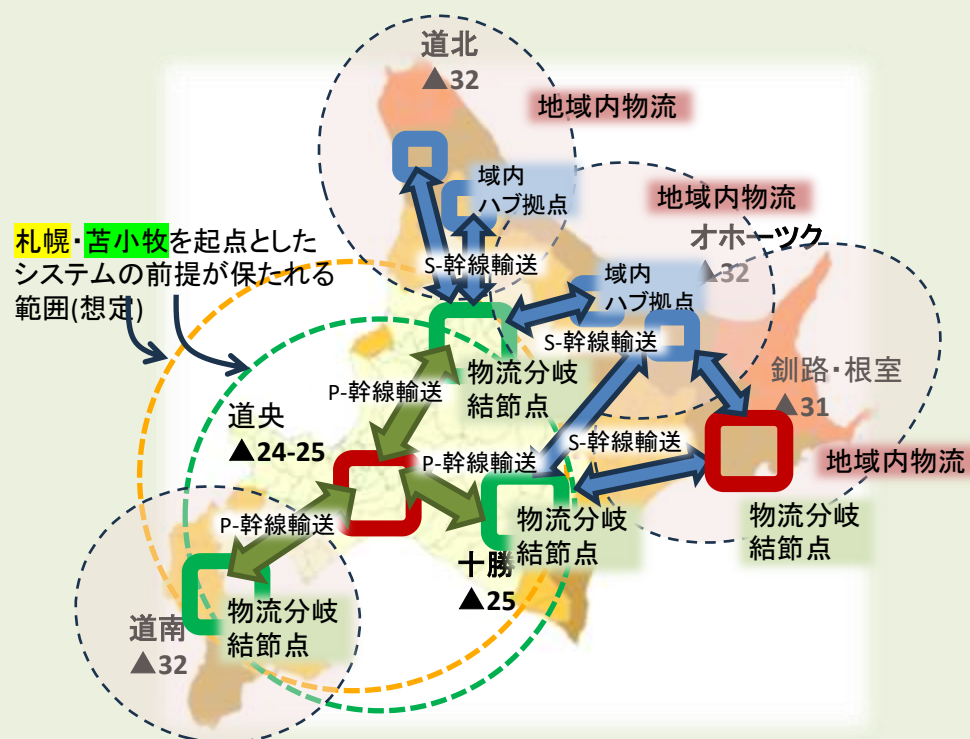
地理的特異性・道内地域性と
「物流機能」をベースとした地域戦略

◎北海商科大学 相浦宣徳



お願い ～可視化について

分析方法、導出された結果の
妥当性などについて、お力をお貸してください。



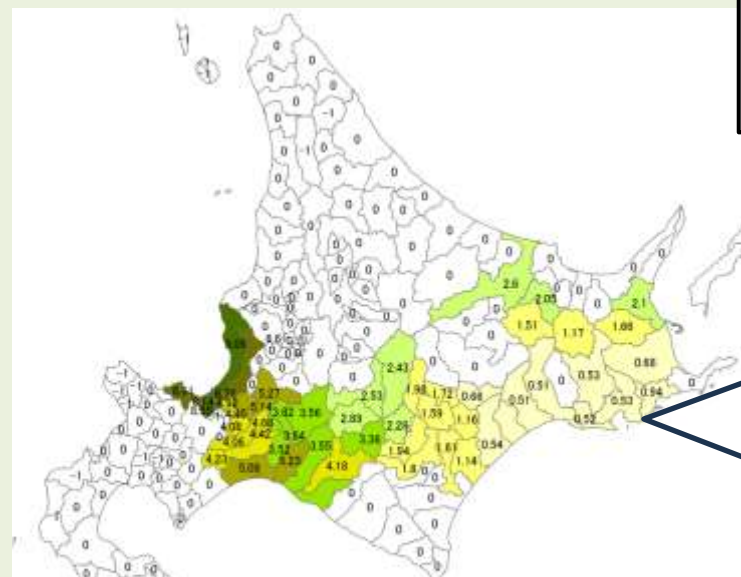
地理的特異性・道内地域性と「物流機能」をベースとした地域戦略



日野自動車(株)様
日野コンピューターシステム(株)様
NTTコム オンライン・マーケティング・ソ
リューション(株)様 より、動態デー
タの貸与、テクニカルサポートをうけて道
内の運送状況分析(東京海洋大学・黒
川久幸先生との共同研究)しています。

* 実務者の皆様へのヒアリング (2回目, 2024年7月15日)
ありがとうございました。

三ツ輪運輸株式会社 理事室長 畑由規子様
(一社)釧路地区トラック協会 専務理事 野村和人様
北海運輸株式会社 支店長 荒井浩昭様
釧路市 課長補佐 吉田良平様



お願い～可視化について

共同輸送

自社分析

4 件

検索する

クリア

検討対象

☐ 混載
☒ 復路

自社発地

札幌市

自社着地

釧路市

回送条件

☒ 回送距離 50 km以内
☐ 回送時間 60 分以内

車種
(複数選択可)

トラック

☐ ウイング
☐ 平ボディ
☐ すべて
☐ 箱車

トレーラー

☐ ウイングセミトレーラー
☐ ウイングフルトレーラー
☐ 平セミトレーラー
☐ 平フルトレーラー

その他

☐ ジェットバック
☐ ローリー
☐ ダンプ
☐ すべて

発拠点

着拠点

自社検索対象データ

CSV出力: 0 件

検索年: 2023

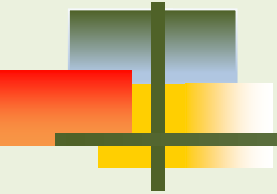
	ユーザーID	コミュニケーション		共同輸送 発拠点候補		共同輸送 着拠点候補		往復回送距離	車種	車格	
		連	状	連絡日時	市区町村	回送距離	市区町村				回送距離
☐	927533	✉			釧路市	0km	恵庭市	27km	27km	箱車	6t



出所: 運輸デジタルビジネス協議会 (TDBC) および株式会社traevoより貸与 <https://tdbc.or.jp>

①経済産業省 資源エネルギー庁「新技術活用サプライチェーン全体輸送効率化・非化石エネルギー転換推進事業」採択事業

②経済産業省 北海道経済産業局「北海道物流デジタルプラットフォーム 構築事業」受託事業



付記

本研究は,①科学研究費基盤研究(C)(19K01941)(2019～2021年度), ②日本私立学校振興・共済事業団・2023年度(第48回)・2024年度(第49回)学術研究振興資金を受け遂行した研究成果の一部である。

参考文献

1. 相浦宣徳：北海道民の生活を支える物流、そして苫小牧港, 講演会資料(主催：苫小牧港利用促進協議会主催), 2018. 5
2. 相浦宣徳, 富田義昭：『激変するの農産物輸送 HAJAブックレットグローバル化と北海道』, 北海道農業ジャーナリストの会, 2019. 7
3. 相浦宣徳, 阿部秀明, 永吉大介：北海道物流の課題と農業分野への影響～物流分野から農業分野への問題提起～, フロンティア農業経済研究 22(1), pp. 9 -24, 2019. 8
4. 平出渉, 相浦宣徳, 永吉大介：幹線物流ネットワーク上の途絶が及ぼす影響と強靱化に関する一考察 ～平成30年山陽線100日間不通を事例として～, 日本物流学会 第37回(2020年度)全国大会 2020. 9
5. 平出渉, 相浦宣徳：北海道新幹線並行在来線と青函共用走行区間における貨物鉄道輸送に関する一考察-議論の整理と仮説的抽出法アプローチによる影響分析, 日本物流学会誌 NO. 30 pp. 219-226 2022
6. 相浦宣徳(代表執筆者)『2021物流プロジェクトチーム報告書～北海道および全国各地の食産業を支える物流の課題整理と対策の検討～』, 北海道経済連合会, 2022
など